



for

Webex Calling

— IP フォン設定・操作ガイド —



2023年10月版

1	IP フォンをセットアップする	P07
2	電話をかける（発信する）	P15
3	電話を受ける（着信に応答する）	P28
4	通話を保留・再開する	P34
5	通話を転送する	P38
6	電話を転送する（着信転送を設定する）	P42
7	ボイスメール（留守番電話）を使用する	P49
8	その他の機能を使用する	P62



webex
by CISCO

目次

Cisco IP Phone のフロントパネル概要	P03
Cisco IP Phone のバックパネル概要	P05
1 IP フォンをセットアップする	P07
1-1 Webex アカウントを有効化する	P08
1-2 IP フォンをネットワークと電源に接続する	P11
1-3 Wi-Fi 対応 IP フォンを電源と Wi-Fi ネットワークに接続する	P12
1-4 IP フォンを Webex クラウドに登録する	P14
2 電話をかける（発信する）	P15
2-1 電話番号を入力して発信する（受話器で通話）	P15
2-2 電話番号を入力して発信する（スピーカーフォンで通話）	P16
2-3 電話番号を入力して発信する（ヘッドセットで通話）	P16
2-4 回線を選択して発信する（複数の回線を利用できる場合）	P17
2-5 発信履歴から発信する（リダイヤル）	P18
2-6 着信履歴から発信する	P19
2-7 連絡先を検索して発信する	P21
2-8 スピードダイヤル（短縮ダイヤル）を設定して発信する	P23
3 電話を受ける（着信に応答する）	P28
3-1 着信に応答する（受話器で通話）	P28
3-2 着信に応答する（スピーカーフォンで通話）	P29
3-3 着信に応答する（ヘッドセットで通話）	P29
3-4 着信を選択して応答する（同時に着信した場合）	P17
3-5 他ユーザの着信に応答する（コールピックアップ）	P31
3-6 アプリの通話を IP フォンで継続する（コールプル）	P33
4 通話を保留・再開する	P34
4-1 通話を保留・再開する	P34
4-2 通話を保留・他ユーザが再開する（コールパーク）	P35
5 通話を転送する	P38
5-1 通話を第三者に転送する（取り次ぎ通話ありで転送）	P38
5-2 通話を第三者に転送する（取り次ぎ通話なしで転送）	P40
6 電話を転送する（着信転送を設定する）	P07
6-1 条件付き着信転送を有効化する	P42
6-2 無条件着信転送を有効化する	P47
7 ボイスメール（留守番電話）を使用する	P49
7-1 ボイスメール PIN（パスコード）を設定する	P49
7-2 ボイスメール用の内線電話番号を確認する	P52
7-3 ボイスメールへの条件付き着信転送を有効化する	P54
7-4 ボイスメールへの無条件着信転送を有効化する	P59
7-5 ボイスメールを開封（再生）する	P61
8 その他の機能を使用する	P62
8-1 連絡先を追加する	P62
8-2 応答不可を設定する（サイレント）	P66

Cisco IP Phone のフロントパネル概要

Cisco IP Phone 6821



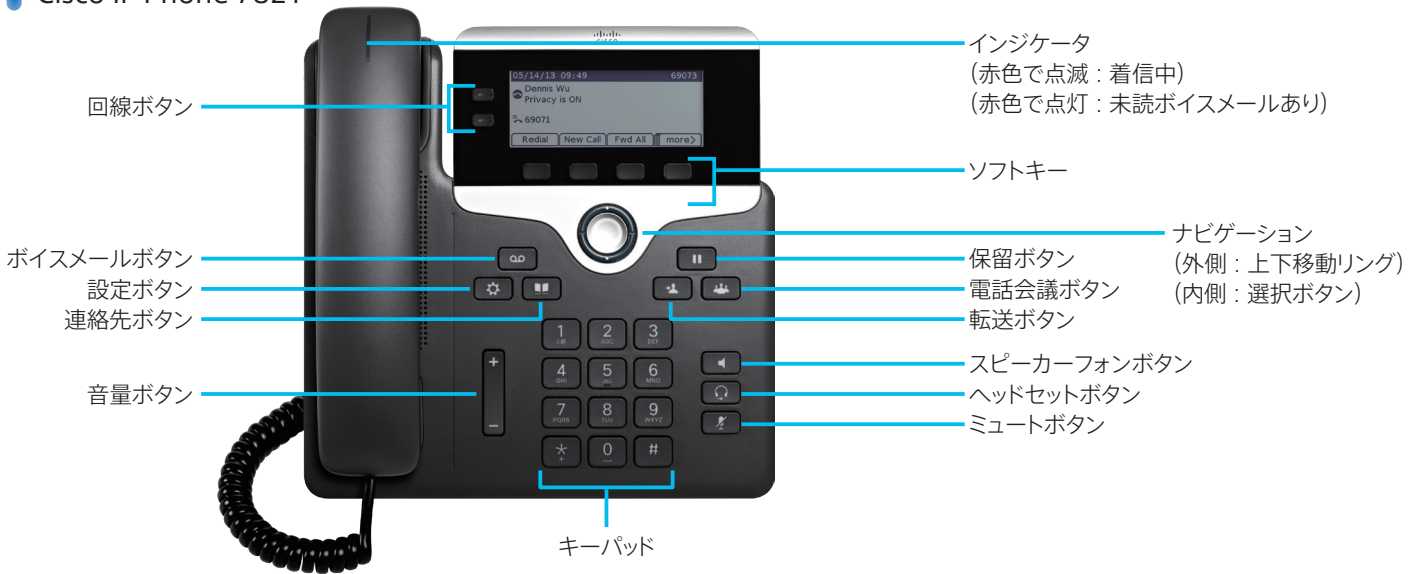
Cisco IP Phone 6841



Cisco IP Phone 6861



Cisco IP Phone 7821

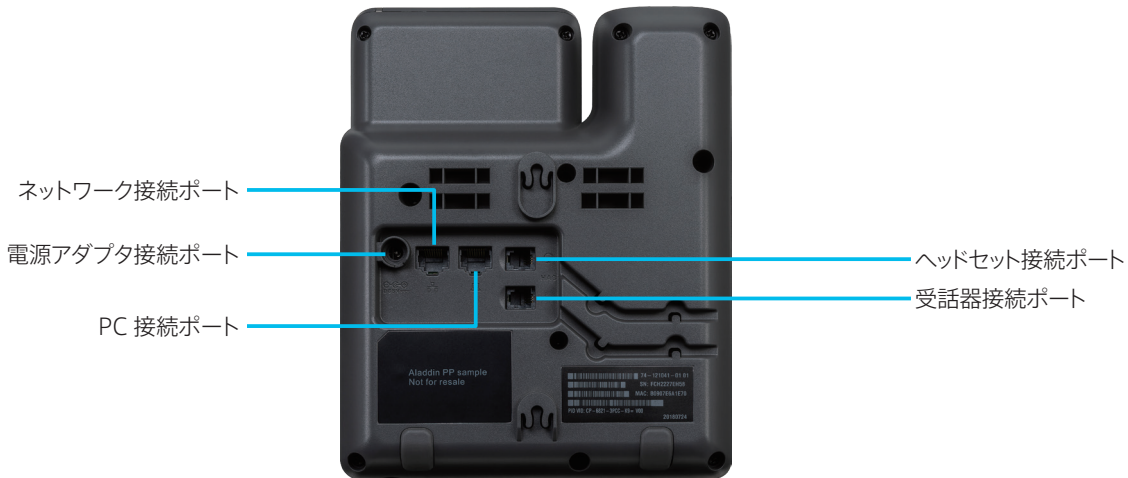


Cisco IP Phone 7861

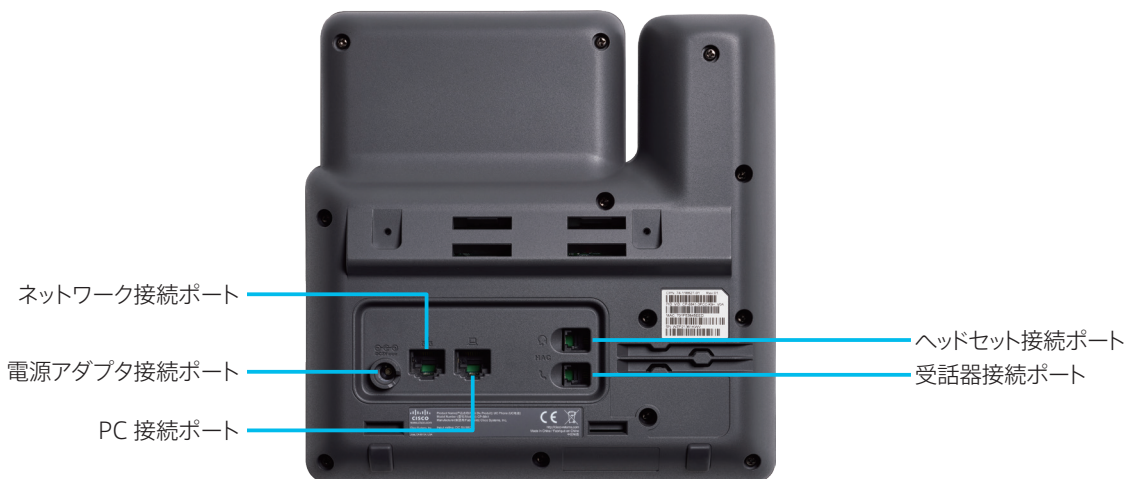


Cisco IP Phone のバックパネル概要

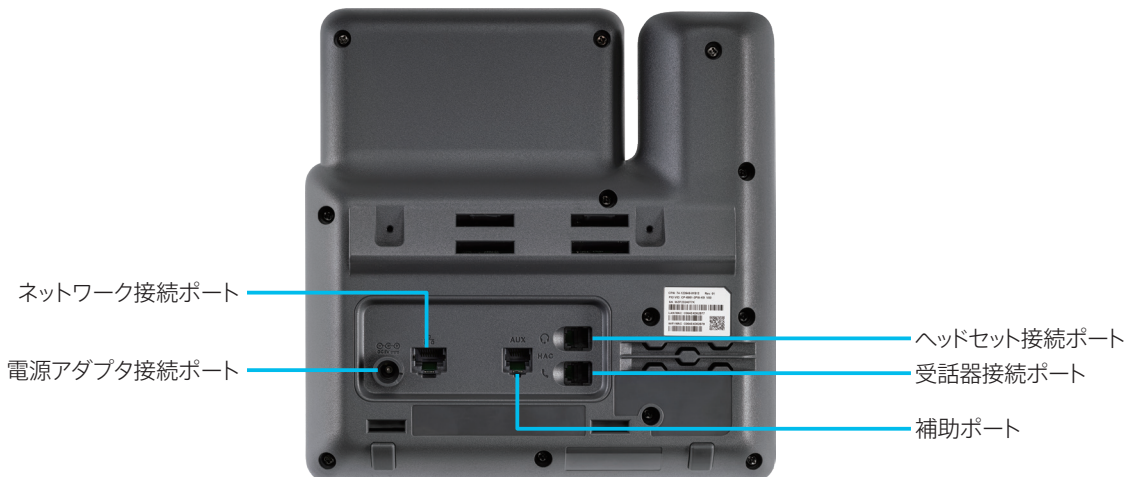
Cisco IP Phone 6821



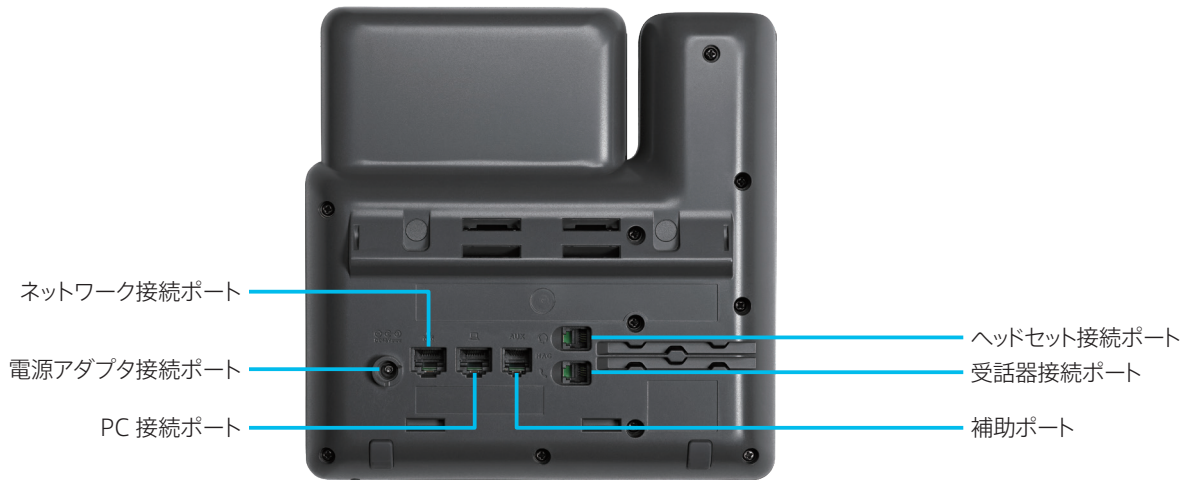
Cisco IP Phone 6841



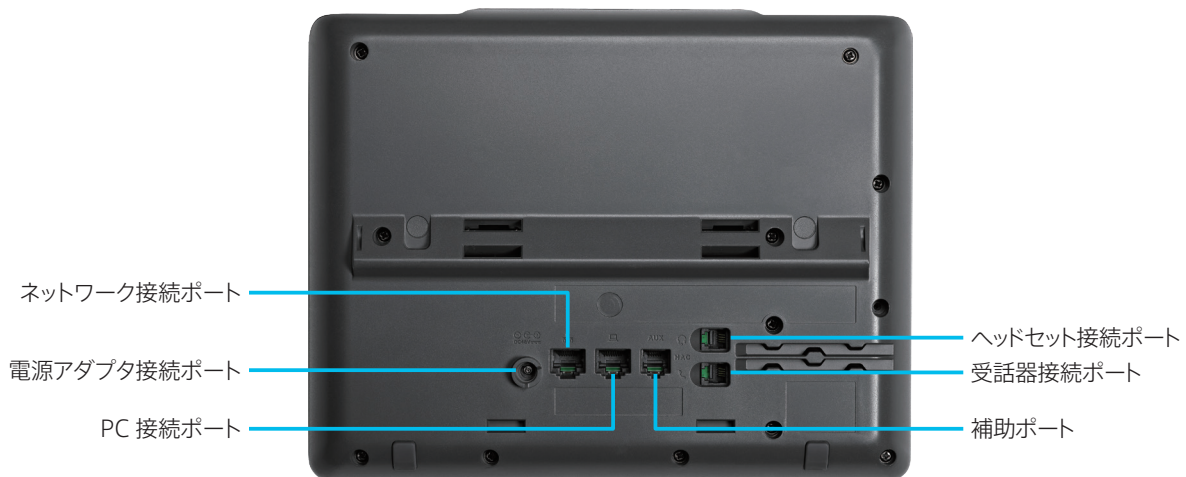
Cisco IP Phone 6861



Cisco IP Phone 7821



Cisco IP Phone 7861



1 IP フォンをセットアップする

ひかりクラウド電話 for Webex Calling を利用するためには、インターネットに接続できるネットワーク環境と次の端末が必要です。

- お客さま組織の Webex 管理者によって必要なライセンスを割り当てられた Webex アカウントとスマートフォンや PC、IP フォン（ユーザの専用端末として使用する IP フォン）
- お客さま組織の Webex 管理者によって必要なライセンスを割り当てられた IP フォン（共同で使用する IP フォン）

本ガイドでは、Webex アカウントの有効化を含む IP フォンの初期設定方法を解説します。

- 1-1 Webex アカウントを有効化する
- 1-2 IP フォンをネットワークと電源に接続する
- 1-3 Wi-Fi 対応 IP フォンを電源と Wi-Fi ネットワークに接続する
- 1-4 IP フォンを Webex クラウドに登録する

注意

受付や会議室、共有スペース、フリーアドレス環境など、共同で使用する IP フォンには通常、Webex 管理者によって必要なライセンス (Webex Calling Space ライセンス) が割り当てられます。フリーアドレス環境などでユーザの一時的な専用端末として使用する場合を除き、Webex アカウントは必要ありません。Webex アカウントを有効化する必要はないため、「1-2 IP フォンをネットワークと電源に接続する」または「1-3 Wi-Fi 対応 IP フォンを電源と Wi-Fi ネットワークに接続する」から初期設定を開始します。

注意

Cisco IP Phone 6861 は Wi-Fi 対応 IP フォンです。LAN ケーブルでネットワークに接続する場合は「1-2 IP フォンをネットワークと電源に接続する」、Wi-Fi でネットワークに接続する場合は「1-3 Wi-Fi 対応 IP フォンを電源と Wi-Fi ネットワークに接続する」をご覧ください。Wi-Fi ネットワークに接続するためには SSID とパスワードなどの情報が必要です。事前にネットワーク管理者や Webex 管理者から入手してください。

注意

IP フォンを Webex クラウドに登録するためには「アクティベーションコード」が必要です。事前に Webex 管理者から入手してください。

Webex 管理者によって IP フォンの Webex クラウド登録が完了している場合、「1-4 IP フォンを Webex クラウドに登録する」の手順は必要ありません。「1-2 IP フォンをネットワークと電源に接続する」または「1-3 Wi-Fi 対応 IP フォンを電源と Wi-Fi ネットワークに接続する」の手順が完了すると、IP フォンのホーム画面が表示されます。



1-1 Webex アカウントを有効化する

Webex Calling を含む Webex サービスを初めて利用する場合は、Webex アカウントを有効化する必要があります。Webex 管理者がお客さまのアカウントを作成すると、アカウントを有効化するための確認メールを受信します。PC のメーラーおよびブラウザで、メール本文に記載されているリンクからパスワードを作成すると、アカウントを有効化できます。

注意

スマートフォンのメーラーおよびブラウザでは、メール本文に記載されているリンクからパスワードを作成するまでの手順が異なります。スマートフォンでは、メール本文に記載されているリンクをタップすると、Webex アプリ for Android または iPhone のダウンロードページが表示されます。アプリをダウンロードおよびインストールしてから、アプリ内ブラウザでパスワードを作成します。

Cisco
Webex アカウントが作成されました!  に参加してください。 5:19

- 1 送信者 [Cisco] からの件名 [Webex アカウントが作成されました!...] メールを開封

PC のメーラーで、アカウントを有効化するための確認メールを開封します。

- 2 [アクティベート] をクリック

クリックすると、ブラウザに「パスワードを作成」ページが表示されます。



もうすぐ完了です...

下の [アクティベート] ボタンをクリックして新しい Cisco Webex アカウントをアクティベートしてください。

アクティベート

2

Webex チーム サポートが必要な場合は
[お問い合わせください。](#)



3 (必要に応じて) [承認] をクリック

Webex サイトによる Cookie の使用を許可します。



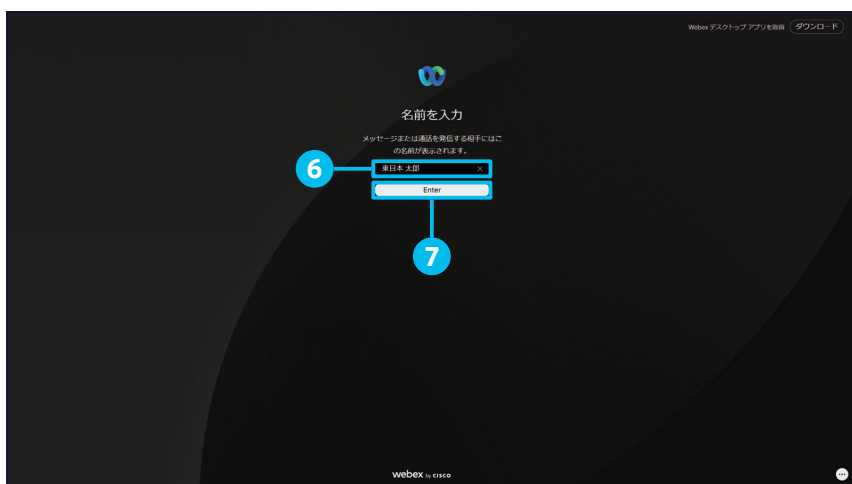
4 [パスワード] に任意のパスワードを入力

5 [作成] をクリック



注意

パスワードは、英大文字、英小文字、数字、および記号 (! や @ など) を各 1 文字以上含む、8 ~ 256 文字の長さで設定する必要があります。予測しやすい単語や名前、メールアドレスは含めないでください。

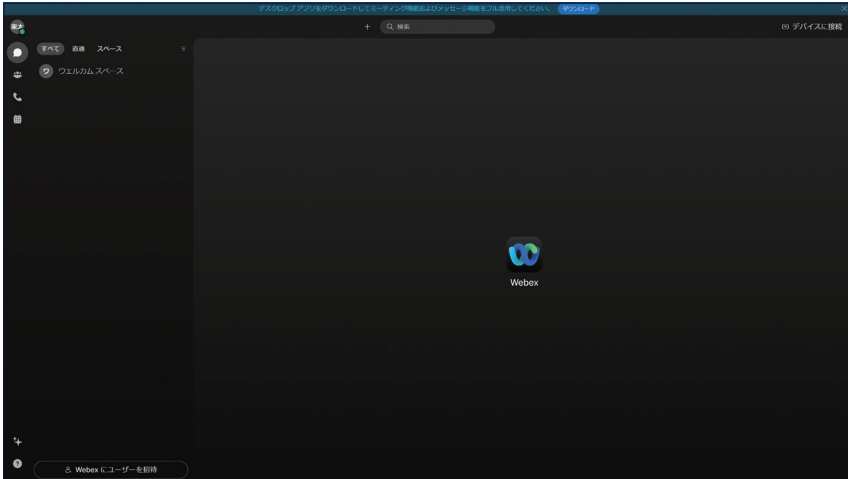


6 (必要に応じて) [氏名] に任意の名前を入力

Webex の通話やチャットで表示される名前 (表示名) を入力します。Webex 管理者がアカウント作成時に「姓」「名」を設定した場合は「名」「姓」の順序で表示されるため (例: 太郎 東日本)、必要に応じて変更します (例: 東日本 太郎)。

7 [Enter] をクリック

クリックすると、ブラウザアプリにサインインします。



8 サインインを確認

アカウントの有効化が完了しました。以降は、アカウントを有効化するための確認メールを受信したメールアドレスと④で作成したパスワードを使用して、モバイルアプリやデスクトップアプリ、および IP フォンにサインインできます。

続けて、IP フォンをネットワークと電源に接続します。IP フォンを LAN ケーブルでネットワークに接続する場合は「**1-2** IP フォンをネットワークと電源に接続する」に進みます。

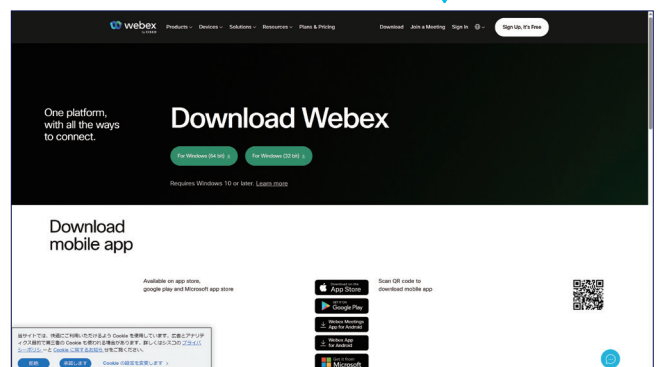
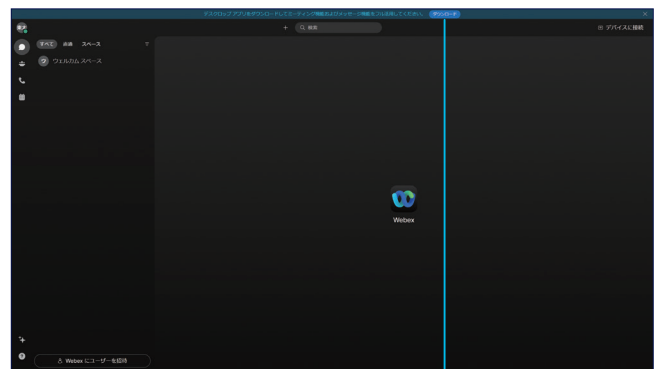
Wi-Fi 対応 IP フォン (Cisco IP Phone 6861) を Wi-Fi でネットワークに接続する場合は「**1-3** Wi-Fi 対応 IP フォンを電源と Wi-Fi ネットワークに接続する」に進みます。

TIP MEMO

ブラウザアプリの上部に表示される「**ダウンロード**」ボタンをクリックすると、Webex アプリ for Windows または Mac のダウンロードページに移動することができます。

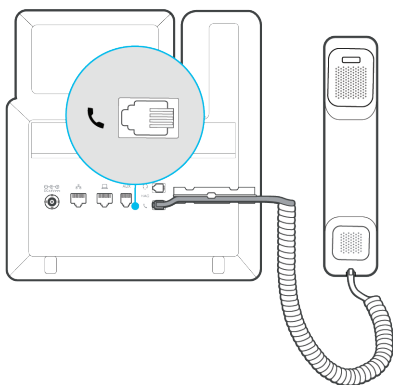
Webex アプリ for Windows には 32 ビット版と 64 ビット版があります。Windows 11 を使用している場合は 64 ビット版インストーラをダウンロードします。Windows 10 を使用している場合は「**スタート**」メニュー > 「**設定**」 > 「**システム**」 > 「**バージョン情報**」に移動し、「**システムの種類**」の情報に合わせてインストーラをダウンロードします。

Webex アプリ for Mac には Intel チップ版と Apple M1 チップ版があります。「**Apple**」メニュー > 「**この Mac について**」 > 「**概要**」に移動し、「**プロセッサ**」または「**チップ**」の情報に合わせてインストーラをダウンロードします。



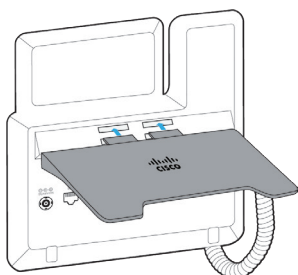
1-2 IP フォンをネットワークと電源に接続する

IP フォン本体に受話器とフットスタンドを取り付けて、ネットワークおよび電源に接続します。



1 IP フォン本体に受話器を接続

付属のカールケーブルを使用して接続します。ケーブルのストレート部分が長いほうが本体側です。

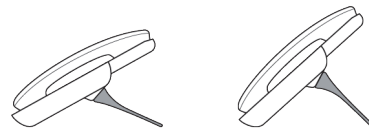


2 IP フォン本体にフットスタンドを取り付け

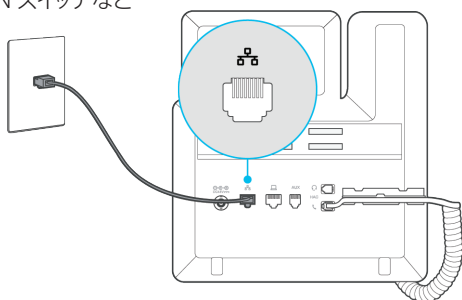
取り付け、および取り外しには、予想以上に力が要る場合があります。

TIP MEMO

フットスタンドの取り付け向きによって、設置角度を調整することができます。



LAN コンセントや
LAN スイッチなど

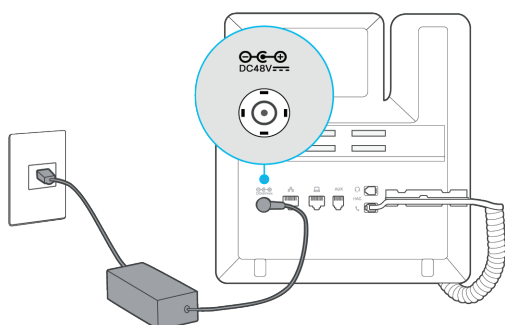


3 IP フォンをネットワークに接続

付属のイーサネットケーブルを使用して接続します。

注意

Cisco IP Phone 6821、7821、および 7861 は PoE 受電対応 IP フォンです。PoE 給電対応機器に接続する場合はイーサネットケーブル経由で電源が供給されるため、4 の手順は必要ありません。接続すると IP フォンが起動し、ディスプレイと各種ボタンが点灯します。



4 (必要に応じて) IP フォンを電源に接続

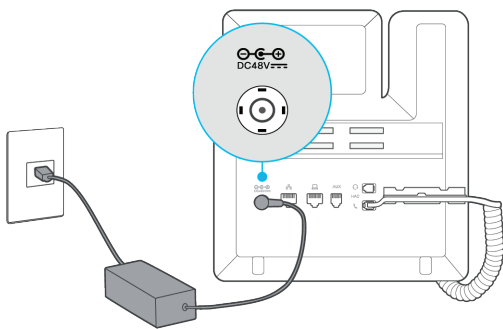
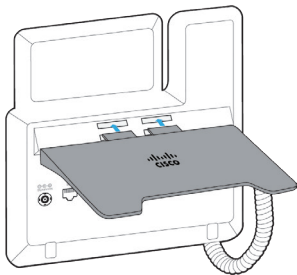
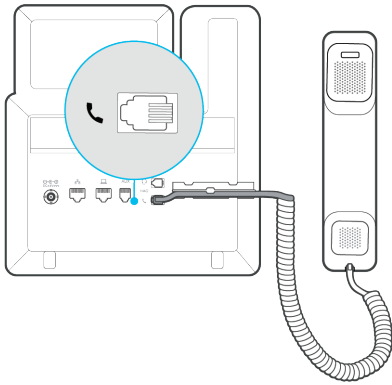
付属の電源アダプタと電源ケーブルを使用して接続します。接続すると IP フォンが起動し、ディスプレイと各種ボタンが点灯します。

ホーム画面が表示されたら、セットアップは完了です。「Welcome」画面が表示されたら、「1-4 IP フォンを Webex クラウドに登録する」に進みます。

1-3

Wi-Fi 対応 IP フォンを電源と Wi-Fi ネットワークに接続する

Wi-Fi 対応 IP フォン (Cisco IP Phone 6861) 本体に受話器とフットスタンドを取り付けて、電源および Wi-Fi ネットワークに接続します。



1 IP フォン本体に受話器を接続

付属のカールケーブルを使用して接続します。ケーブルのストレート部分が長いほうが本体側です。

2 IP フォン本体にフットスタンドを取り付け

取り付け、および取り外しには、予想以上に力が要る場合があります。

TIP MEMO

フットスタンドの取り付け向きによって、設置角度を調整することができます。



3 (必要に応じて) IP フォンを電源に接続

付属の電源アダプタと電源ケーブルを使用して接続します。接続すると IP フォンが起動し、ディスプレイと各種ボタンが点灯します。

「Connect to Wi-Fi」画面が表示されたら、4に進みます。

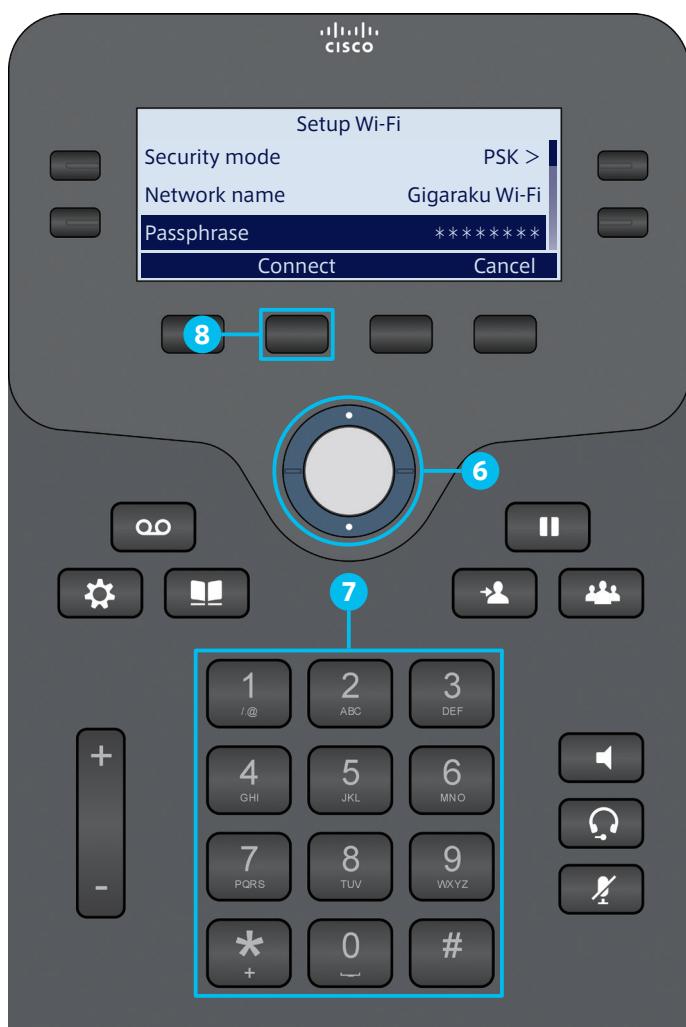


4 リングをプッシュして、接続する Wi-Fi ネットワークを選択

ネットワーク管理者または Webex 管理者から入手した情報に従って、接続する Wi-Fi ネットワーク (SSID) を選択します。本ガイドでは例として、事前共有鍵 (Pre-Shared Key ; PSK) 方式の Wi-Fi ネットワークに接続します。

5 [Setup] ソフトキーをプッシュ

プッシュすると、「Setup Wi-Fi」画面が表示されます。



6 リングをプッシュして [Passphrase] を選択

7 キーパッドをプッシュして、パスフレーズ (パスワード) を入力

ネットワーク管理者または Webex 管理者から入手した情報に従って、Wi-Fi ネットワークのパスフレーズ (パスワード) を入力します。

8 [Connect] ソフトキーをプッシュ

プッシュすると、Wi-Fi 接続が開始されます。接続に成功すると「Wireless connection is OK」メッセージが表示されます。

ホーム画面が表示されたら、セットアップは完了です。「Welcome」画面が表示されたら、「1-4 IP フォンを Webex クラウドに登録する」に進みます。

注意

接続する Wi-Fi ネットワークのセキュリティ方式に応じて、6~8 で入力する情報が異なります。たとえば、802.1X 認証方式ではユーザ名とパスワードの入力が必要です。Wi-Fi ネットワーク接続に関する不明点は、ネットワーク管理者または Webex 管理者にお問い合わせください。

注意

接続に失敗すると「Failed to associate with...」メッセージが表示されます。「Setup Wi-Fi」画面が再度表示されたら、入力した情報が正しいかどうか確認します。Wi-Fi ネットワーク接続に関する不明点は、ネットワーク管理者または Webex 管理者にお問い合わせください。

1-4 IP フォンを Webex クラウドに登録する

IP フォンの接続と起動が完了して「Welcome」画面が表示されたら、Webex 管理者から入手した「アクティベーションコード」を入力して、IP フォンを Webex クラウドに登録します。



1 キーパッドをプッシュして、アクティベーションコードを入力
Webex 管理者から入手したアクティベーションコード（16桁の数字）を入力します。

2 [Continue] ソフトキーをプッシュ
プッシュすると、Webex クラウドへの接続と登録が開始されます。登録に成功すると、Webex 管理者による初期設定が自動的にダウンロードされます。

注意

登録に失敗すると「**Device activation is forbidden.**」メッセージが表示されます。入力したアクティベーションコードが正しいかどうか確認します。

アクティベーションコードを正しく入力しているにもかかわらず登録に失敗する場合は、Webex 管理者にお問い合わせください。

たとえば、Webex 管理者がアクティベーションコード発行時に指定した IP フォンのモデル名と実際のモデル名が異なる場合は、正しいモデル名を指定して再発行したアクティベーションコードを入力することで、登録は成功します。



3 ホーム画面が表示されたことを確認
ホーム画面が表示されたら、セットアップは完了です。

TIP MEMO

ホーム画面が表示される前に、ダウンロードされた設定が自動的に適用されて、通常は英語表示から日本語表示に変化します。

2 電話をかける（発信する）

IP フォンは、一般的な電話機でおなじみの基本的な発信機能をサポートします。
本ガイドでは、次の発信方法を解説します。

- 2-1 電話番号を入力して発信する（受話器で通話）
- 2-2 電話番号を入力して発信する（スピーカーフォンで通話）
- 2-3 電話番号を入力して発信する（ヘッドセットで通話）
- 2-4 回線を選択して発信する（複数の回線を利用できる場合）
- 2-5 発信履歴から発信する（リダイヤル）
- 2-6 着信履歴から発信する
- 2-7 連絡先を検索して発信する
- 2-8 スピードダイヤル（短縮ダイヤル）を設定して発信する

2-1 電話番号を入力して発信する（受話器で通話）

一般的な電話機と同様に、電話番号を入力して受話器で通話するための発信方法です。



- 1 ホーム画面が表示された状態でキーパッドをプッシュして電話番号を入力
- 2 受話器を持ち上げる


TIP MEMO

受話器を持ち上げて、「プー」という発信音が聞こえている間に電話番号を入力することも発信できます。


2-2 電話番号を入力して発信する（スピーカーフォンで通話）

電話番号を入力して IP フォン本体のスピーカーフォンによるハンズフリーで通話するための発信方法です。



- 1 ホーム画面が表示された状態でキーパッドをプッシュして電話番号を入力
- 2  ボタンをプッシュ
または [発信] ソフトキーをプッシュします。


TIP MEMO

 ボタンまたは [発信] ソフトキーをプッシュして、「プー」という発信音が聞こえている間に電話番号を入力することもできます。


2-3 電話番号を入力して発信する（ヘッドセットで通話）

電話番号を入力して IP フォン本体に接続したヘッドセットによるハンズフリーで通話するための発信方法です。



- 1 ホーム画面が表示された状態でキーパッドをプッシュして電話番号を入力
- 2  ボタンをプッシュ

TIP MEMO

 ボタンをプッシュして、「プー」という発信音が聞こえている間に電話番号を入力することもできます。

2-4 回線を選択して発信する（複数の回線を利用できる場合）



Webex 管理者が複数の回線を IP フォンに設定している場合は、回線を選択して発信することができます。



- 1 ホーム画面が表示された状態で  リングをプッシュして目的の回線を選択



- 2 キーパッドをプッシュして電話番号を入力
- 3 発信

受話器で通話する場合は受話器を持ち上げて発信、スピーカフォンで通話する場合は  ボタンまたは[発信]ソフトキーをプッシュして発信、ヘッドセットで通話する場合は  ボタンをプッシュして発信します。

2-5 発信履歴から発信する (リダイヤル)

過去に発信した履歴から発信する方法です。



- 1 ホーム画面が表示された状態で [リダイヤル] ソフトキーをプッシュ


プッシュすると、「発信履歴」画面が表示されます。

TIP MEMO



複数の回線を利用できる場合は、 リングをプッシュして目的の回線を選択してから [リダイヤル] ソフトキーをプッシュします。



- 2  ナビゲーションリングをプッシュして発信先を選択

履歴は新しいものから表示されます。 リングをプッシュして目的の発信先を選択します。

- 3 発信

受話器で通話する場合は受話器を持ち上げて発信、スピーカフォンで通話する場合は  ボタンまたは [発信] ソフトキーをプッシュして発信、ヘッドセットで通話する場合は  ボタンをプッシュして発信します。

2-6 着信履歴から発信する

過去に着信した履歴から発信する方法です。履歴には、着信に 응답しなかった「不在着信」と 응답した「着信履歴」があります。本ガイドでは例として、後者の着信履歴から発信する方法を解説します。



1 [設定] ボタンをプッシュ

プッシュすると、「**情報と設定**」画面が表示されます。

TIP MEMO

複数の回線を利用できる場合は、**リング**をプッシュして目的の回線を選択してから **[設定]** ボタンをプッシュします。



2 [選択] ソフトキーをプッシュ

[通話履歴] が選択された状態で [選択] ソフトキーをプッシュします。プッシュすると、「**通話履歴**」画面が表示されます。



3 ● ナビゲーションリングをプッシュして [着信履歴] を選択

4 [選択] ソフトキーをプッシュ

または ● ボタンをプッシュします。
プッシュすると、「着信履歴」画面が表示されます。



5 ● リングをプッシュして発信先を選択

履歴は新しいものから表示されます。● リングをプッシュして目的の発信先を選択します。

6 発信

受話器で通話する場合は受話器を持ち上げて発信、スピーカーフォンで通話する場合は [] ボタンまたは [発信] ソフトキーをプッシュして発信、ヘッドセットで通話する場合は [] ボタンをプッシュして発信します。

TIP MEMO

未確認の不在着信がある場合は、回線ステータスアイコンが に変化します。アイコンの下の数字は未確認の不在着信数です。

また、未確認の不在着信がある場合は、ホーム画面から不在着信履歴にアクセスできます。[●○○○] ソフトキーをプッシュして、[不在着信] ソフトキーをプッシュします。



2-7 連絡先を検索して発信する

連絡先（電話帳）を検索して発信する方法です。IP フォンでは、次の連絡先を検索できます。

- ユーザ自身が IP フォンに登録した連絡先
- Webex 管理者がクラウド管理ポータルに登録した連絡先（Webex ディレクトリ）

本ガイドでは例として、Webex ディレクトリを検索して発信する方法を解説します。

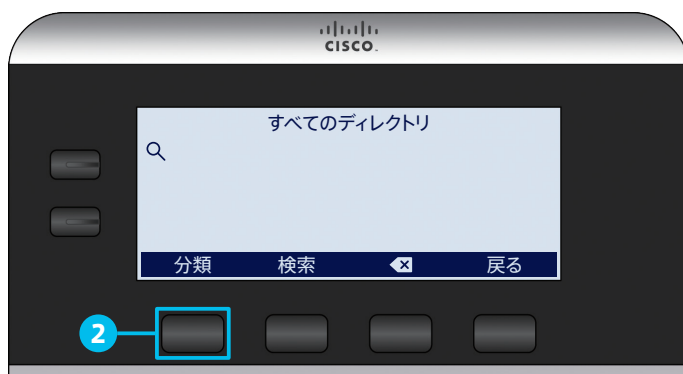


1 連絡先 ボタンをプッシュ

または [●○○○]（その他のラベル）ソフトキーをプッシュすると表示される [連絡先] ソフトキーをプッシュします。プッシュすると、「すべてのディレクトリ」画面が表示されます。

TIP MEMO

複数の回線を利用できる場合は、○リングをプッシュして目的の回線を選択してから 連絡先 ボタンをプッシュします。



2 [分類] ソフトキーをプッシュ

プッシュすると、「ディレクトリ」画面が表示されます。



3 ナビゲーションリングをプッシュして [Webex ディレクトリ] を選択

4 [選択] ソフトキーをプッシュ

または ボタンをプッシュします。
プッシュすると、「Webex ディレクトリの検索」画面が表示されます。



5 キーパッドをプッシュして文字列を入力

連絡先の名前またはメールアドレスに含まれる文字列を 3 文字以上で入力します。

6 [検索] ソフトキーをプッシュ

プッシュすると、「Webex ディレクトリ」画面で検索結果が表示されます。



注意

Cisco IP Phone では日本語入力をサポートしていません。
英数字および記号で検索してください。



7  リングをプッシュして発信先を選択

8 発信

受話器で通話する場合は受話器を持ち上げて発信、スピーカフォンで通話する場合は  ボタンまたは[発信]ソフトキーをプッシュして発信、ヘッドセットで通話する場合は  ボタンをプッシュして発信します。

2-8 スピードダイヤル（短縮ダイヤル）を設定して発信する

頻繁に発信する電話番号など、特定の電話番号をスピードダイヤル（短縮ダイヤル）に設定すれば、電話番号の入力や電話帳の検索を省略して即座に発信することができます。IP フォン本体にはスピードダイヤル番号「2」から「9」までの8番号、さらに空き回線ボタンにもスピードダイヤルを設定できます。本ガイドでは例として、IP フォン本体のスピードダイヤル番号「2」に電話番号を設定して発信する方法を解説します。



1  ボタンをプッシュ

プッシュすると、「情報と設定」画面が表示されます。



2 ● リングをプッシュして「短縮ダイヤル」を選択

3 [選択] ソフトキーをプッシュ

または ● ボタンをプッシュします。
プッシュすると、「短縮ダイヤル」画面が表示されます。



4 ● リングをプッシュして設定したい番号を選択

5 [編集] ソフトキーをプッシュ

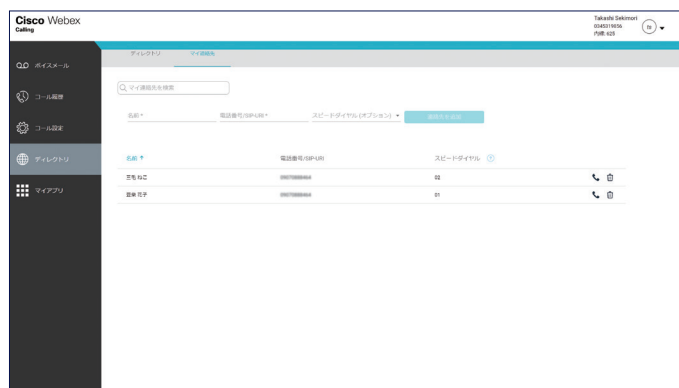
または ● ボタンをプッシュします。
プッシュすると、「スピードダイヤルの編集」画面が表示されます。

TIP MEMO

スピードダイヤルは、各ユーザ専用のポータルサイト「Calling User Portal (CUP)」でも設定できます。CUP ではスピードダイヤル番号「00」から「99」までの100番号を設定可能です。

CUP には次の Web サイトの「Webex Calling」タブからアクセスできます。

 settings.webex.com





6 リングをプッシュして [名前] を選択

7 キーパッドをプッシュして文字列を入力

スピードダイヤルに設定したい発信先の名前を入力します。

TIP MEMO

[オプション] ソフトキーをプッシュすると表示される [連絡先から追加] メニューによって、個人アドレス帳から選択することもできます。

TIP MEMO

空き回線ボタンを長押しすることで、特定の電話番号をスピードダイヤルに設定し、スピードダイヤルボタンとして機能させることができます。ボタンをプッシュするだけで発信可能です。





- 8 リングをプッシュして [番号] を選択
- 9 キーパッドをプッシュして電話番号を入力
スピードダイヤルに設定したい発信先の電話番号を入力します。
- 10 [保存] ソフトキーをプッシュ
プッシュすると、「短縮ダイヤル」画面が表示されます。





- 11 スピードダイヤルが設定されたことを確認
本ガイドの例では、スピードダイヤル番号「2」が設定されました。
- 12 [戻る] ソフトキーを 2 回プッシュ
続いて、スピードダイヤルで発信する方法です。[戻る] ソフトキーを 2 回プッシュして待受画面を表示します。



13 キーパッドをプッシュしてスピードダイヤル番号を入力

本ガイドの例では、スピードダイヤル番号「2」をプッシュします。

14 発信

受話器で通話する場合は受話器を持ち上げて発信、スピーカフォンで通話する場合は  ボタンまたは[発信]ソフトキーをプッシュして発信、ヘッドセットで通話する場合は  ボタンをプッシュして発信します。

TIP MEMO

Calling User Portal (CUP) で設定したスピードダイヤルで発信する場合は、13で「#」「スピードダイヤル番号」「#」の順で入力します。たとえば、スピードダイヤル番号「10」で発信する場合は「#10#」です。

3

電話を受ける（着信に应答する）

IP フォンは、一般的な電話機でおなじみの基本的な着信应答機能、およびビジネス電話機ならではの高度な着信应答機能をサポートします。本ガイドでは、次の着信应答方法を解説します。

- 3-1 着信に应答する（受話器で通話）
- 3-2 着信に应答する（スピーカーフォンで通話）
- 3-3 着信に应答する（ヘッドセットで通話）
- 3-4 着信を選択して应答する（同時に着信した場合）
- 3-5 他ユーザの着信に应答する（コールピックアップ）
- 3-6 アプリの通話を IP フォンで継続する（コールプル）

3-1 着信に应答する（受話器で通話）

一般的な電話機と同様に受話器で通話するための着信应答方法です。



1 受話器を持ち上げる


着信があると、着信音が鳴って回線ボタンがオレンジ色で点滅します。画面で発信元を確認し、受話器で通話する場合は受話器を持ち上げて应答します。

3-2 着信に应答する (スピーカーフォンで通話)

IP フォン本体のスピーカーフォンによるハンズフリーで通話するための着信应答方法です。



1 ボタンを押し


着信があると、着信音が鳴って回線ボタンがオレンジ色で点滅します。画面で発信元を確認し、スピーカーフォンで通話する場合は  ボタン、[応答] ソフトキー、またはオレンジ色で点滅している回線ボタンを押しして应答します。

3-3 着信に应答する (ヘッドセットで通話)

IP フォン本体に接続したヘッドセットによるハンズフリーで通話するための着信应答方法です。



1 ボタンを押し

着信があると、着信音が鳴って回線ボタンがオレンジ色で点滅します。画面で発信元を確認し、ヘッドセットで通話する場合は  ボタンを押しして应答します。



3-4 着信を選択して応答する（同時に着信した場合）

同時に複数の着信がある場合は、着信を選択して応答することができます。たとえば、単一の回線で同時に複数の着信がある場合や、複数の回線で同時に着信がある場合などです。本ガイドでは例として、単一の回線で同時に複数の着信がある場合に、着信を選択して応答する方法を解説します。



1 ● リングをプッシュして着信を選択

2 応答

受話器で通話する場合は受話器を持ち上げて応答、スピーカーフォンで通話する場合は  ボタンまたは[応答]ソフトキーをプッシュして応答、ヘッドセットで通話する場合は  ボタンをプッシュして応答します。

TIP MEMO

複数の回線で同時に着信がある場合は、複数の回線ボタンがオレンジ色で点滅します。応答したい回線ボタンをプッシュすることで、スピーカーフォンで通話を開始することができます（必要に応じて他の通話方法に切り替えます）。

● リングをプッシュすることで、回線をまたいで着信を選択することもできます。



3-5 他ユーザの着信に应答する (コールピックアップ)

不在または離席中の同僚など、他ユーザの着信に代理で应答することができます。たとえば、同僚のデスクまで移動せずに着席したまま、自分の IP フォンで应答することができます。



1 他ユーザの着信を確認

IP フォンの着信音が聞こえるなど、他ユーザに着信があることを確認します。

2 [●○○○] ソフトキーをプッシュ

[ピックアップ] ラベルが表示されるまでプッシュします。



3 [ピックアップ] ソフトキーをプッシュ


TIP MEMO



Webex 管理者が設定したコールピックアップグループのメンバーである場合、同じグループに所属する他のメンバーの着信に内線電話番号の入力なしで应答することができます。

[●○○○] ソフトキーをプッシュすると表示される [Gr ピック] ラベルのソフトキーをワンプッシュするだけで应答可能、グループ内で同時に複数の着信がある場合は、最も古い着信に应答できます。





4 キーパッドをプッシュして他ユーザの内線電話番号を入力
または  ボタンか [連絡先] ソフトキーをプッシュして、電話帳から選択します。

5 応答
受話器で通話する場合は受話器を持ち上げて応答、スピーカフォンで通話する場合は  ボタンまたは [発信] ソフトキーをプッシュして応答、ヘッドセットで通話する場合は  ボタンをプッシュして応答します。

3-6 アプリの通話を IP フォンで継続する (コールプル)

スマートフォンや PC の Webex アプリで開始した通話を、IP フォンに切り替えて継続することができます。通話を終了して再発信する必要はありません。IP フォンから Webex アプリに切り替えて継続することも可能です。



1 Webex アプリで通話

TIP MEMO

Webex アプリで通話を開始すると、IP フォンの回線ボタンが赤色で点灯して通話相手の電話番号が表示されます。



2 [Call Pull] ソフトキーを押し

[Call Pull] ソフトキーを押しすると、IP フォンのスピーカーフォンで通話を継続することができます (必要に応じて他の通話方法に切り替えます)。

4

通話を保留・再開する

IP フォンは、一般的な電話機でおなじみの基本的な保留・再開機能、およびビジネス電話機ならではの高度な保留・再開機能をサポートします。本ガイドでは、次の保留・再開方法を解説します。

4-1 通話を保留・再開する

4-2 通話を保留・他ユーザが再開する（コールパーク）

4-1 通話を保留・再開する

通話を保留および再開する方法です。



1 通話中に [保留] ボタンを押し

または [保留] ソフトキーを押しすると、通話を保留することができます。

回線ボタンが緑色で点滅し、通話相手には保留音が再生されます。



2 (通話を再開する場合) [再開] ボタンを押し

または [再開] ソフトキーを押しすると、通話を再開することができます。

TIP MEMO

元の通話を保留したまま他の着信に応答する、他の宛先に発信するなど、新たな通話を開始することもできます。新たな通話を保留して元の通話を再開する場合は、[保留] ボタンを押しして元の通話を選択し、[再開] ソフトキーを押しします（新たな通話は自動的に保留されます）。

4-2 通話を保留・他ユーザが再開する（コールパーク）

通話を特定の内線電話番号で保留して、他ユーザがその内線電話番号で再開できるようにします。保留先の内線電話番号を知っている誰でも通話を再開できるため、たとえば特定の同僚ではなく部署の誰かに取り次ぎたい場合などに最適です。



1 通話中に [●○○] ソフトキーをプッシュ

[●○○] (その他のラベル) ソフトキーをプッシュして、[パーク] ラベルを表示します。



2 [パーク] ソフトキーをプッシュ

TIP MEMO

Webex 管理者がユーザにコールパーク内線電話番号のモニタリングを許可し、IP フォンの回線ボタンにコールパーク内線電話番号を割り当てている場合、回線ボタンはコールパークボタンとして機能します。

コールパークボタンのワンプッシュで通話を保留および再開可能、さらにパーク中はボタンが赤色で点灯するため、応答すべき通話があることがひと目でわかります。





3 キーパッドをプッシュして保留先の内線電話番号を入力

または **[連絡先]** ボタンか **[連絡先]** ソフトキーをプッシュして、電話帳から選択します。

保留先の内線電話番号として、任意のユーザの内線電話番号や Webex 管理者が設定した任意のコールパーク内線電話番号などを使用できます。

4 **[発信]** ソフトキーをプッシュ

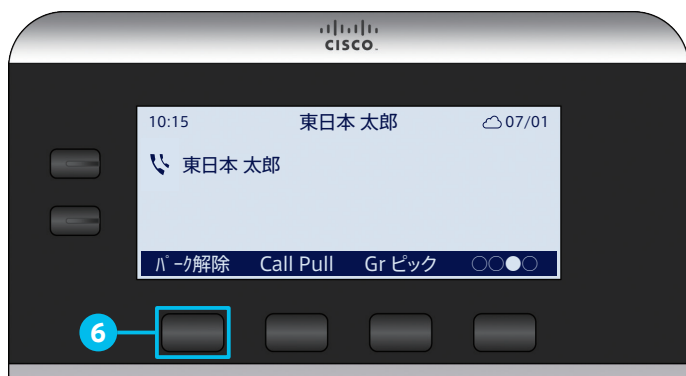
または **[#]** キーをプッシュすると、「お客様の通話はパーク保留されました ...」とアナウンス音声が再生されて、通話を保留することができます。

続いて、保留された通話を別の IP フォンで再開する方法です。



5 (別の IP フォンで通話を再開する場合) **[●○○○]** ソフトキーをプッシュ

[パーク解除] ラベルが表示されるまでプッシュします。



6 「パーク解除」ソフトキーをプッシュ



7 キーパッドをプッシュして保留先の内線電話番号を入力

8 「発信」ソフトキーをプッシュ

または # キーをプッシュすると、通話を再開することができます。

5

通話を転送する

IP フォンは、ビジネス電話機ならではの通話転送機能をサポートします。本ガイドでは、次の通話転送方法を解説します。

5-1 通話を第三者に転送する（取り次ぎ通話ありで転送）

5-2 通話を第三者に転送する（取り次ぎ通話なしで転送）

5-1

通話を第三者に転送する（取り次ぎ通話ありで転送）

通話を保留して、転送先の第三者と通話してから転送することができます。たとえば、顧客との通話を保留後、顧客担当者として通話してから転送するような使い方や、顧客担当者との通話後に再度顧客と通話してから転送するような使い方も可能です。




1 通話中に  ボタンを押し

または「転送」ソフトキーを押し、通話を保留します。
回線ボタンが緑色で点滅し、通話相手には保留音が再生されます。



2 キーパッドをプッシュして転送先の電話番号を入力

または  ボタンか [連絡先] ソフトキーをプッシュして、電話帳から選択します。

3 [発信] ソフトキーをプッシュ



4 転送先が応答するまで待機



5 転送先と通話

転送先が応答すると、転送先と自分との通話が開始されます。転送先に用件を伝えます。

6 ボタンを押し

または「転送」ソフトキーを押しすると、元の通話を転送することができます（元の通話相手と自分との通話が終了し、元の通話相手と転送先との通話が開始されます）。

5-2 通話を第三者に転送する（取り次ぎ通話なしで転送）

通話を保留して、転送先の第三者とは通話せずにそのまま転送することができます。たとえば、顧客との通話を保留後、声が届く距離の顧客担当者と直接会話してから転送するような使い方が可能です。




1 通話中に ボタンを押し

または「転送」ソフトキーを押しして、通話を保留します。回線ボタンが緑色で点滅し、通話相手には保留音が再生されます。



2 キーパッドをプッシュして転送先の電話番号を入力

または  ボタンか [連絡先] ソフトキーをプッシュして、電話帳から選択します。

3 [発信] ソフトキーをプッシュ



4  ボタンをプッシュ

または [転送] ソフトキーをプッシュします。

5 転送先が応答するまで待機

転送先が応答すると、元の通話を転送することができます（元の通話相手と自分との通話が終了し、元の通話相手と転送先との通話が開始されます）。

6

電話を転送する（着信転送を設定する）

IP フォンは、一般的な電話機でおなじみの基本的な着信転送機能、およびビジネス電話機ならではの高度な着信転送機能をサポートします。本ガイドでは、次の着信転送方法を解説します。

6-1 条件付き着信転送を有効化する

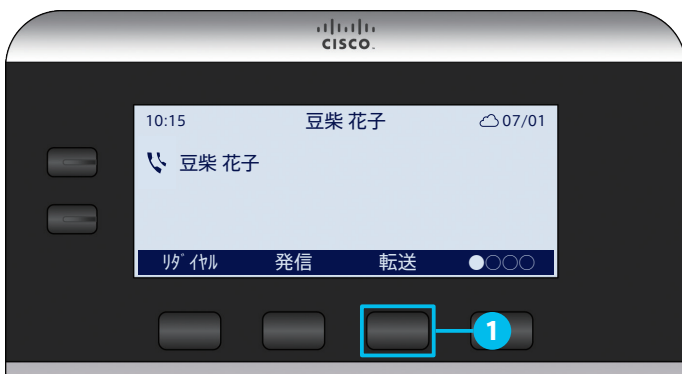
6-1 無条件着信転送を有効化する

6-1 条件付き着信転送を有効化する

通話中や無応答時のような条件に応じて、着信を転送することができます。

- **通話中着信転送**：通話中（話し中）に別の着信があった場合、指定した電話番号に着信が転送されるように設定できます。
- **無応答時着信転送**：着信に回答しないまま指定の時間（呼び出し回数）が経過した場合、指定した電話番号に着信が転送されるように設定できます。

本ガイドでは例として、両方の着信転送を有効化します。




- 1 ホーム画面が表示された状態で **[転送]** ソフトキーをプッシュ
プッシュすると、「不在転送設定」画面が表示されます。

TIP MEMO


複数の回線を利用できる場合は、 リングをプッシュして目的の回線を選択してから **[転送]** ソフトキーをプッシュします。




- 2  リングをプッシュして **[話中転送]** を選択
- 3 **[選択]** ソフトキーをプッシュ



まず、通話中着信転送を有効化します。



- 4 「話中転送」が選択された状態で  ボタンを押し、[オン]に切り替え



- 5  リングを押し、[話中転送番号]を選択
6 キーパッドを押し、転送先の電話番号を入力

または  ボタンか [連絡先] ソフトキーを押し、電話帳から選択します。[連絡先] は  (その他のラベル) ソフトキーを押しすると表示されます。

- 7 「設定」を押し

押しすると、通話中着信転送が有効化されます。

 MEMO

通話中着信転送を無効化する場合は、4の手順で [オフ]に切り替えます。



8 ● リングをプッシュして「無応答時転送」を選択

9 [選択] ソフトキーをプッシュ

次に、無応答時着信転送を有効化します。



10 「無応答時転送」が選択された状態で ● ボタンをプッシュして「オン」に切り替え



11 リングをプッシュして [無応答時転送番号] を選択

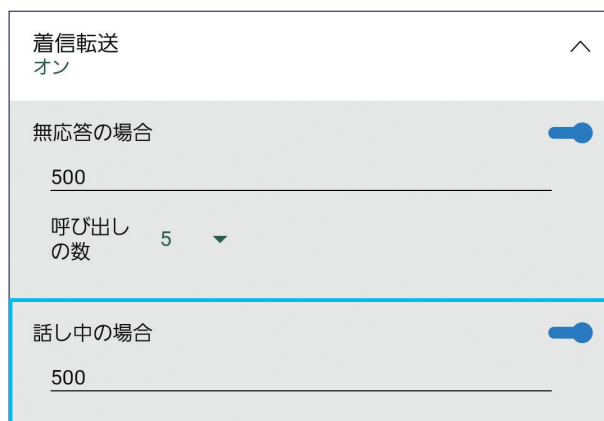
12 キーパッドをプッシュして転送先の電話番号を入力

または ボタンか [連絡先] ソフトキーをプッシュして、電話帳から選択します。[連絡先] は [●○] (その他のラベル) ソフトキーをプッシュすると表示されます。

MEMO

IP フォンの着信転送設定と Webex アプリの着信転送設定は連動します。

新しい設定が IP フォンと Webex アプリの両方に反映されるため、たとえば IP フォンで着信転送を有効化すると IP フォンと Webex アプリの両方で有効化されて、Webex アプリで無効化すると IP フォンと Webex アプリの両方で無効化されます。





13 ● リングをプッシュして [リング回数] を選択


14 キーパッドをプッシュして呼び出し音の再生回数を入力

転送されるまでの呼び出し音の再生回数を 0 ~ 20 の範囲で設定します。

15 [設定] をプッシュ

プッシュすると、無応答時着信転送が有効化されます。

TIP MEMO

条件付き着信転送または無条件着信転送を有効化すると、回線ステータスアイコンが  に変化します。また、ホーム画面のソフトキー [転送] ラベルが [転送クリア] ラベルに変化します。

[転送クリア] ソフトキーをプッシュすると、すべての着信転送を無効化することができます。



6-2 無条件着信転送を有効化する

条件を問わず、指定した電話番号にすべての着信を転送することができます。



- 1 ホーム画面が表示された状態で **[転送]** ソフトキーをプッシュ
プッシュすると、「不在転送設定」画面が表示されます。

TIP MEMO

複数の回線を利用できる場合は、**○** リングをプッシュして目的の回線を選択してから **[転送]** ソフトキーをプッシュします。



- 2 **[不在転送]** が選択された状態で **[選択]** ソフトキーをプッシュ




- 3 **[不在転送]** が選択された状態で **○** ボタンをプッシュして **[オン]** に切り替え



4 ● リングをプッシュして [無応答時転送番号] を選択


5 キーパッドをプッシュして転送先の電話番号を入力

または  ボタンか [連絡先] ソフトキーをプッシュして、電話帳から選択します。[連絡先] は [●○] (その他のラベル) ソフトキーをプッシュすると表示されます。

6 [設定] をプッシュ

プッシュすると、無条件着信転送が有効化されます。

MEMO

条件付き着信転送または無条件着信転送を有効化すると、回線ステータスアイコンが  に変化します。また、ホーム画面のソフトキー [転送] ラベルが [転送クリア] ラベルに変化します。

[転送クリア] ソフトキーをプッシュすると、すべての着信転送を無効化することができます。



7 ボイスメール（留守番電話）を使用する

IP フォンは、一般的な電話機でおなじみの基本的なボイスメール（留守番電話）機能、およびビジネス電話機ならではの高度なボイスメール機能をサポートします。本ガイドでは、次のボイスメールへの着信転送方法およびボイスメールの確認方法を解説します。

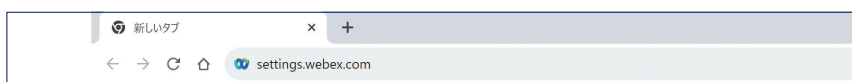
- 7-1 ボイスメール PIN（パスコード）を設定する
- 7-2 ボイスメール用の内線電話番号を確認する
- 7-3 ボイスメールへの条件付き着信転送を有効化する
- 7-4 ボイスメールへの無条件着信転送を有効化する
- 7-5 ボイスメールを開封（再生）する

注意

Webex アプリを利用している場合は、IP フォンではなくアプリでボイスメールへの着信転送を有効化、およびボイスメールを確認することを推奨します。IP フォンではアプリとは異なり、ボイスメール専用の着信転送設定がありません。また、IP フォンではアプリとは異なり、ボイスメールを確認する都度、ボイスメール PIN を入力する必要があります。

7-1 ボイスメール PIN（パスコード）を設定する

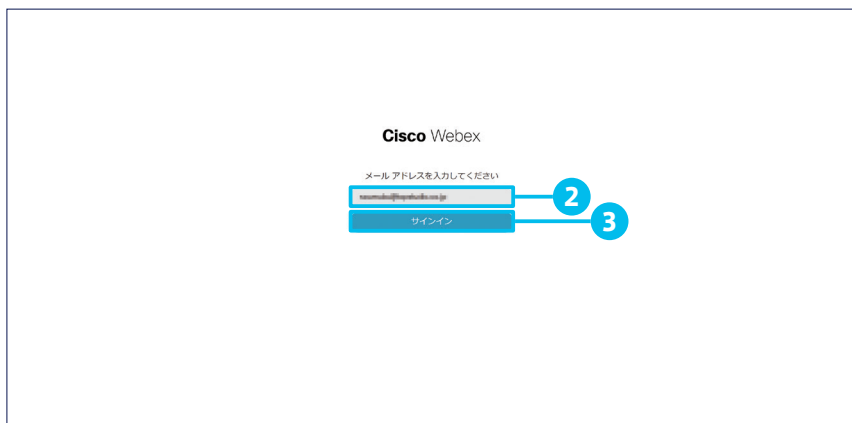
IP フォンでボイスメールを使用するためにはまず、各ユーザ専用のポータルサイト「Webex 設定ユーザーポータル」でボイスメール PIN(パスコード)を設定します。Webex 設定ユーザーポータルには PC およびスマートフォンからアクセス可能です。本ガイドでは例として、PC からアクセスします。



- 1 ブラウザのアドレスバーに [settings.webex.com] を入力

または次の URL をクリックして、Webex 設定ユーザーポータルにアクセスします。

 settings.webex.com



- 2 [メールアドレス] に Webex アカウントのメールアドレスを入力
- 3 [サインイン] をクリック

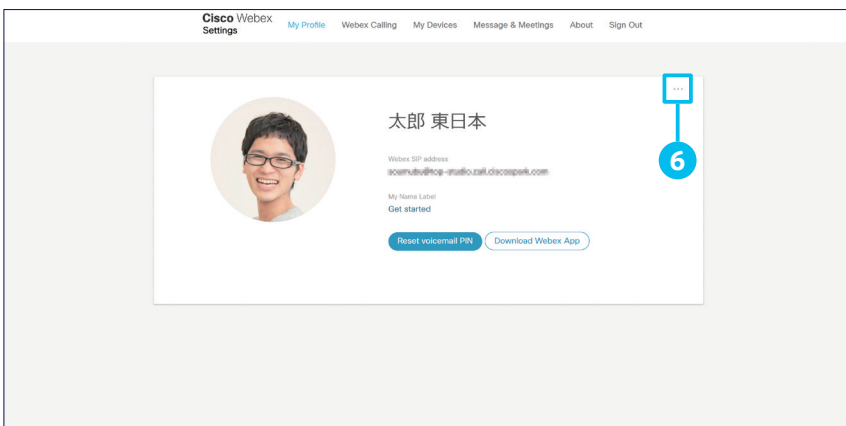


4 [パスワード] に Webex アカウントのパスワードを入力

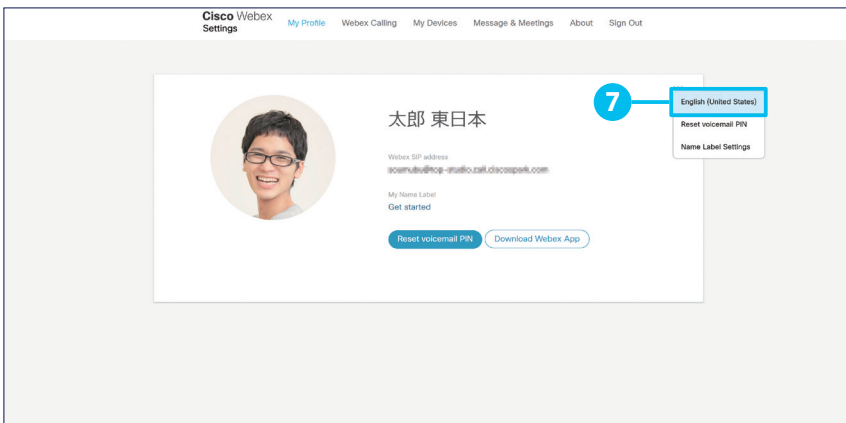
5 [サインイン] をクリック

必要に応じて[メールアドレスを記憶する]チェックボックスをクリックして選択してから [サインイン] をクリックします。

クリックすると、Webex 設定ユーザーポータルが英語で表示されます。日本語で表示された場合は①に進みます。

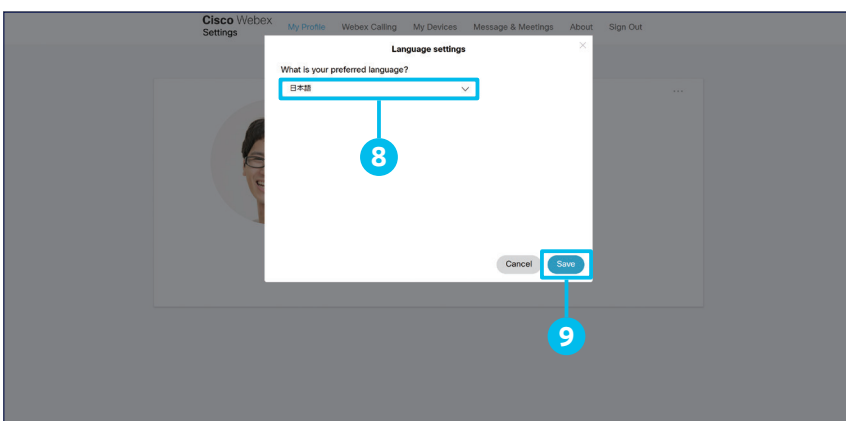


6 ...をクリック



7 [English (United States)] をクリック

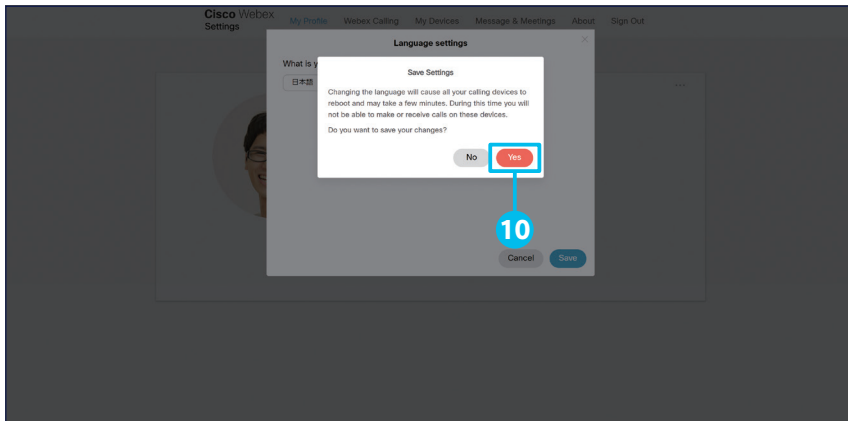
クリックすると、[Language settings] モーダルウィンドウが表示されます。



8 [What is your preferred language?]
プルダウンリストで [日本語] を選択

9 [Save] をクリック

クリックすると、[Save Settings] モーダルウィンドウが表示されます。



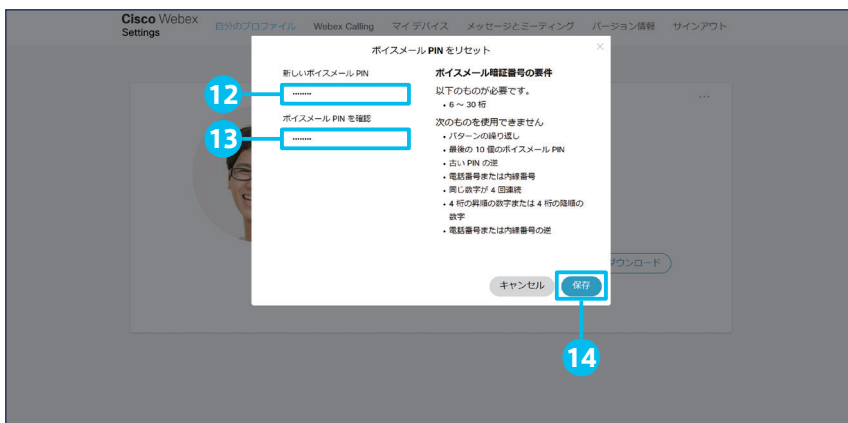
10 [Yes] をクリック

クリックすると、Webex 設定ユーザーポータルが日本語で表示されます。



11 [ボイスメール PIN をリセット] をクリック

クリックすると、「ボイスメール PIN をリセット」モーダルウィンドウが表示されます。



12 [新しいボイスメール PIN] に任意のパスコードを入力

13 [ボイスメール PIN を確認] に⑫で入力したパスコードを再度入力

14 [保存] をクリック

ボイスメール PIN (パスコード) の設定が完了しました。

続いて、IP フォンでボイスメールの内線番号を確認します。

注意

ボイスメール PIN (パスコード) は、6 ~ 30 桁の数字 (数字列) で設定する必要があります。次のような数字列は設定できません。

- 自分の外線電話番号または内線電話番号
- 自分の外線電話番号または内線電話番号の逆順
- 同じパターンのくり返し (13571357 など)
- 同じ数字が 4 回連続する (011110 など)
- 4 桁の昇順または降順の数字を含む (123400 など)

7-2 ボイスメール用の内線電話番号を確認する

Webex 設定ユーザーポータルでボイスメール PIN (パスコード) を設定したら、IP フォンでボイスメール用の内線電話番号を確認します。



1  ボタンをプッシュ

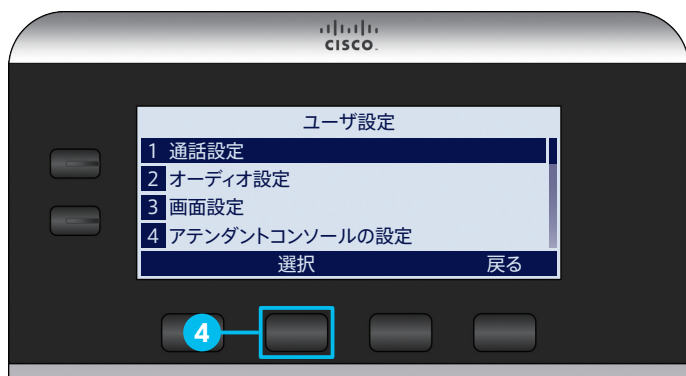
プッシュすると、「**情報と設定**」画面が表示されます。




2  リングをプッシュして [**ユーザ設定**] を選択

3 [**選択**] ソフトキーをプッシュ

または  ボタンをプッシュします。
プッシュすると、「**ユーザ設定**」画面が表示されます。



- 4 「通話設定」が選択された状態で「選択」ソフトキーをプッシュ
または  ボタンをプッシュします。
プッシュすると、「通話設定」画面が表示されます。



- 5 「ボイスメール」の数字（内線電話番号）を確認
本ガイドの例では、「999」がボイスメール用の内線電話番号です。

 注意

「ボイスメール」に数字（内線電話番号）が設定されていない場合は、Webex 管理者に確認してください。

7-3 ボイスメールへの条件付き着信転送を有効化する

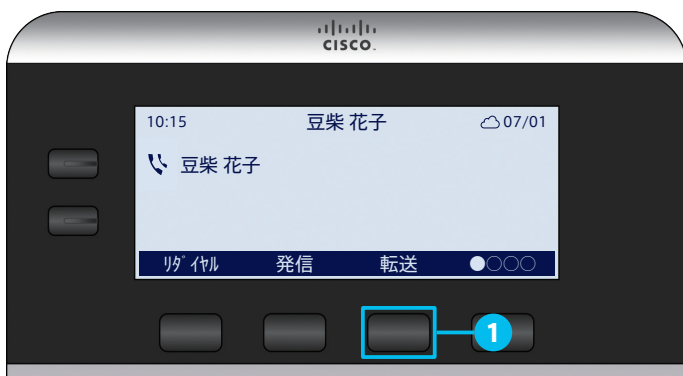
無応答時や通話中のような条件に応じて、ボイスメールに着信を転送する方法です。

- ボイスメールへの通話中着信転送：通話中（話し中）に別の着信があった場合、ボイスメールに着信が転送されるように設定できます。
- ボイスメールへの無応答時着信転送：着信に回答しないまま指定の時間（呼び出し回数）が経過した場合、ボイスメールに着信が転送されるように設定できます。

本ガイドでは例として、両方の着信転送を有効化します。

TIP MEMO

Webex Calling のデフォルト設定では、ボイスメールサービス、およびボイスメールへの通話中着信転送と無応答時着信転送（呼び出し 3 回）とが有効化されています。本ガイドでは、これらが無効化されている前提で解説します。



- 1 ホーム画面が表示された状態で「転送」ソフトキーをプッシュ
プッシュすると、「不在転送設定」画面が表示されます。


TIP MEMO

複数の回線を利用できる場合は、○リングをプッシュして目的の回線を選択してから「転送」ソフトキーをプッシュします。




- 2 ○リングをプッシュして「話中転送」を選択
- 3 「選択」ソフトキーをプッシュ
まず、ボイスメールへの通話中着信転送を有効化します。



- 4 「話中転送」が選択された状態で  ボタンをプッシュして「オン」に切り替え



- 5  リングをプッシュして「話中転送番号」を選択
- 6 キーパッドをプッシュして「7-2 ボイスメール用の内線電話番号を確認する」5で確認した電話番号を入力
- 7 「設定」をプッシュ

プッシュすると、ボイスメールへの通話中着信転送が有効化されます。

 **MEMO**

通話中着信転送を無効化する場合は、4の手順で「オフ」に切り替えます。



8 ● リングをプッシュして [無応答時転送] を選択

9 [選択] ソフトキーをプッシュ

次に、無応答時着信転送を有効化します。



10 [無応答時転送] が選択された状態で ● ボタンをプッシュして [オン] に切り替え



- 11 リングをプッシュして「無応答時転送番号」を選択
- 12 キーパッドをプッシュして「7-2 ボイスメール用の内線電話番号を確認する」5で確認した電話番号を入力

MEMO

IP フォンの着信転送設定と Webex アプリの着信転送設定は連動します。新しい設定が IP フォンと Webex アプリの両方に反映されるため、たとえば IP フォンで着信転送を有効化すると IP フォンと Webex アプリの両方で有効化されて、Webex アプリで無効化すると IP フォンと Webex アプリの両方で無効化されます。





13 ● リングをプッシュして [リング回数] を選択


14 キーパッドをプッシュして呼び出し音の再生回数を入力

転送されるまでの呼び出し音の再生回数を 0 ~ 20 の範囲で設定します。

15 [設定] をプッシュ

プッシュすると、ボイスメールへの無応答時着信転送が有効化されます。

TIP MEMO

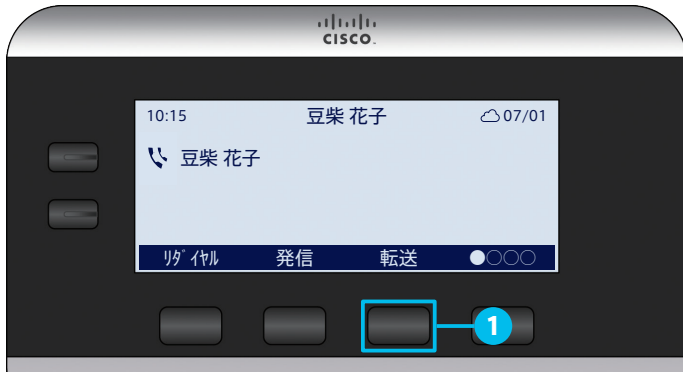
条件付き着信転送または無条件着信転送を有効化すると、回線ステータスアイコンが  に変化します。また、ホーム画面のソフトキー [転送] ラベルが [転送クリア] ラベルに変化します。

[転送クリア] ソフトキーをプッシュすると、すべての着信転送を無効化することができます。




7-4 ボイスメールへの無条件着信転送を有効化する

条件を問わず、ボイスメールにすべての着信を転送することができます。



- 1 ホーム画面が表示された状態で **[転送]** ソフトキーをプッシュ
プッシュすると、「不在転送設定」画面が表示されます。


TIP MEMO

複数の回線を利用できる場合は、 リングをプッシュして目的の回線を選択してから **[転送]** ソフトキーをプッシュします。



- 2 **[不在転送]** が選択された状態で **[選択]** ソフトキーをプッシュ




- 3 **[不在転送]** が選択された状態で  ボタンをプッシュして **[オン]** に切り替え



- 4 ● リングをプッシュして [無応答時転送番号] を選択
- 5 キーパッドをプッシュして「7-2 ボイスメール用の内線電話番号を確認する」5で確認した電話番号を入力
- 6 [設定] をプッシュ

プッシュすると、ボイスメールへの無条件着信転送が有効化されます。

TIP MEMO

条件付き着信転送または無条件着信転送を有効化すると、回線ステータスアイコンが  に変化します。また、ホーム画面のソフトキー [転送] ラベルが [転送クリア] ラベルに変化します。

[転送クリア] ソフトキーをプッシュすると、すべての着信転送を無効化することができます。



7-5 ボイスメールを開封（再生）する

ボイスメールを開封（再生）する方法です。



1 voicemail ボタンをプッシュ

または [●○○○]（その他のラベル）ソフトキーをプッシュすると表示される [メッセージ] ソフトキーをプッシュします。プッシュすると、ボイスメール用の内線電話番号に発信します。

2 音声ガイダンスに従ってキーパッドをプッシュ

音声ガイダンスに従ってキーパッドをプッシュします。「7-1 ボイスメール PIN（パスコード）を設定する」⑫で設定したパスコードの入力が必要です。

TIP MEMO

未開封のボイスメールがある場合は、受話器の LED が赤で点灯します。また、回線ステータスアイコンが voicemail に変化します。アイコンの下の数字は未開封のボイスメール数です。



8

その他の機能を使用する

IP フォンは、これまでに解説してきた機能の他にもさまざまな機能をサポートします。本ガイドでは、次の機能をピックアップして使用方法を解説します。


8-1 連絡先を追加する

8-2 応答不可を設定する（サイレント）

8-1

連絡先を追加する

IP フォンに連絡先を追加する方法です。

本ガイドでは例として、 ボタンから連絡先を追加する方法を解説します。



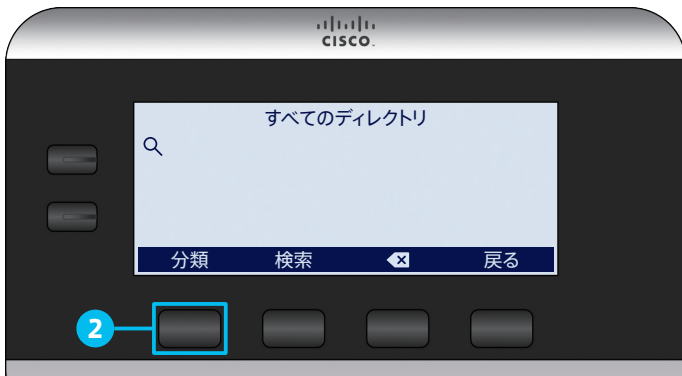
注意

IP フォンの連絡先は Webex アプリでは利用できません。同様に、Webex アプリの連絡先も IP フォンでは利用できません。



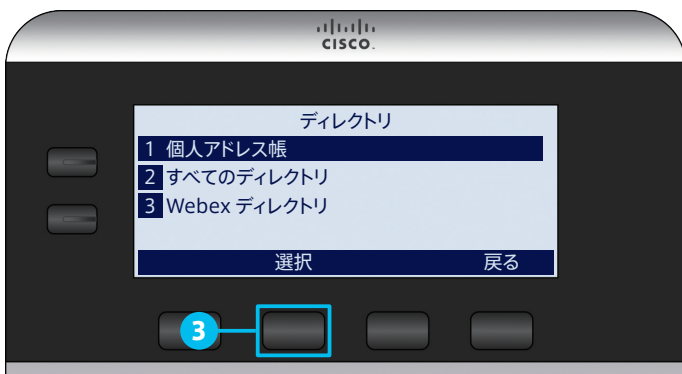
1  ボタンをプッシュ

または [●○○○]（その他のラベル）ソフトキーをプッシュすると表示される [連絡先] ソフトキーをプッシュします。プッシュすると、「すべてのディレクトリ」画面が表示されます。




2 「分類」ソフトキーをプッシュ

プッシュすると、「ディレクトリ」画面が表示されます。



3 「個人アドレス帳」が選択された状態で「選択」ソフトキーをプッシュ

または  ボタンをプッシュします。
プッシュすると、「個人アドレス帳」画面が表示されます。



4 「オプション」ソフトキーをプッシュ



5 「追加」が選択された状態で「選択」ソフトキーをプッシュ

または  ボタンをプッシュします。
プッシュすると、「個人アドレスエントリの追加」画面が表示されます。



- 6 [名前] が選択された状態でキーパッドをプッシュして、連絡先の名前を入力

注意

Cisco IP Phone では日本語入力をサポートしていません。英数字および記号で検索してください。

TIP MEMO

発着信履歴から連絡先を追加することもできます。まず、履歴が選択された状態で[オプション]ソフトキーをプッシュします。次に、**6** リングをプッシュして [連絡先の追加] を選択し、[選択] ソフトキーまたは **0** ボタンをプッシュします。





7 リングをプッシュして [勤務先電話] を選択

8 キーパッドをプッシュして、連絡先の電話番号を入力
必要に応じて、[携帯電話] や [自宅電話] に電話番号を入力します。

9 [保存] ソフトキーをプッシュ

プッシュすると、「個人アドレス帳」画面が表示されます。



10 連絡先の追加を確認

連絡先の追加が完了しました。

8-2 応答不可を設定する (サイレント)

着信に回答しない「応答不可 (サイレント)」を有効化することができます。応答不可時の着信は履歴には表示されますが、着信音は鳴りません。また、発信者に対しては通話中として処理されるため、通話中の着信転送を有効化している場合は指定した電話番号またはボイスメールに着信が転送されます。

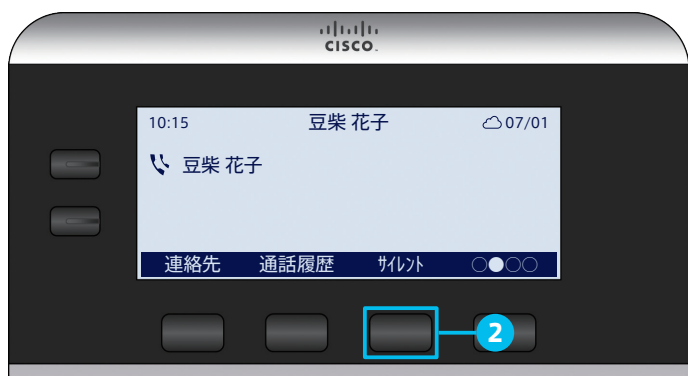


1 [●○○○] ソフトキーをプッシュ

[サイレント] ラベルが表示されるまでプッシュします。

TIP MEMO

複数の回線を利用できる場合は、●リングをプッシュして目的の回線を選択してから [サイレント] ソフトキーをプッシュします。



2 [サイレント] ソフトキーをプッシュ



3 応答不可 (サイレント) の有効化を確認

無効化する場合は [サイレントクリア] ラベルが表示されるまで [●○○○] ソフトキーをプッシュし、[サイレントクリア] ソフトキーをプッシュします。

TIP MEMO

IP フォンの応答不可設定と Webex アプリの応答不可設定は連動します。

新しい設定が IP フォンと Webex アプリの両方に反映されるため、たとえば IP フォンで応答不可を有効化すると IP フォンと Webex アプリの両方で有効化されて、Webex アプリで無効化すると IP フォンと Webex アプリの両方で無効化されます。

一方、Webex アプリで勤務時間外として設定した時間帯は IP フォンの応答不可が自動的に有効化されますが、IP フォンで応答不可を無効化しても Webex アプリでは勤務時間外が無効化されません。

©2023 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
Cisco、Cisco ロゴ、Webex、およびWebex by Ciscoロゴは、
Cisco Systems, Inc.またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。

お問い合わせ先

ひかりクラウド電話 for Webex Calling

business.ntt-east.co.jp/service/cloud_denwa/wx.html

Webex (NTT 東日本によるサービス紹介サイト)

business.ntt-east.co.jp/service/w-ex